

# ワークショップかわら版 vol.3

秋も深まってきた11月5日(火)、四万十市立文化センター1階大会議室にて「四万十市文化複合施設(仮称)管理運営基本計画検討第3回市民ワークショップ」を開催しました。今回は初めての参加者も含め10代から70代の市民参加者26名(男性9名、女性17名)、市の事務局スタッフ4名、その他の事務局スタッフ4名、合計34名での開催となりました。今回のワークショップは「新しい施設の使い方を考える」をテーマに、現在、並行して進んでいる設計案をみながら、貸し出しが想定されている施設の利用ルールなどの「施設の使い方」について意見を出し合いました。日ごろから様々な活動をされている団体やサークル利用者の方たちからは特に具体的な意見や要望が多く出され「様々な方法で利用申込ができること」や、「会議室等の時間制利用の区分検討」など、目的に応じた柔軟なルール調整を求める意見があがりました。

今回が最終回ということで、ワークショップで出た意見をフィードバックして、市民の意見を反映した検討を行って欲しいなどのお声もいただきました。今後も新文化複合施設の利用者であり、サポーターである市民の皆さんのご協力が必要です。引き続きどうぞよろしくお願いいたします！

## 第3回「新しい施設の使い方を考える」

4つの班に分かれ、参加者の皆さんと新しい文化複合施設で想定される貸出施設の「休館日・開館時間」「利用申込方法・受付時間」「施設利用についての要望」などを出し合い、意見を書いたふせんを使ってまとめたワークシートをもとに、班ごとに発表を行いました。

### A班



ひとつひとつの部屋が多くの用途に使えるように整備されることを期待するとともに、多用途で多くの方が使えるような利用調整の仕組みが出来ることよいのとの話が出ました。調理実習室は匂いへの配慮も必要といった意見もありました。

今回のワークショップに限らず、市民が出した意見が結果どう反映されたか、また反映されなかったのはなぜなのか、今後フィードバックの機会を設けてほしいです。

### B班



利用申込方法は、電話やインターネットで仮予約も受け付けるが、決定は窓口での受付とし、対面で行うべきではないかという話がありました。利用の決定は、抽選の調整、そして先着順を組み合わせがよい(何日も前から並べば予約できるというのはダメ)との声が大きいです。

また、練習室や会議室などは利用当日まで申込受付を可能にして利用の自由度を上げるとよいのではないかとの意見がありました。

### C班



休館日については、定期休館日も年末年始も含めて開館後暫くは「無し」と設定し、何年か経って様子を見ながら考えればよい、開館時間は現在の施設と同じでよいが、前後2時間程度の時間外利用を認めてほしいという意見が出ました。

また、現在の施設では冷暖房費が設定されていますが、本来は冷暖房込みで利用時には快適に使える状態で施設を使えるのが前提ではないかという話も出ました。

### D班



利用申込は、仕事後にも立ち寄れるよう、遅くまで受け付けてほしいという意見もありました。

また、練習室や会議室などは、年間を通じた定期利用を可能に(事前調整を行ってできるように)するべきではないかとの話もありました。展示室は会議室としても使えるということですが、展示での利用予約を優先とし、その他の施設や諸室も市民が利用しやすくなるとよいと思います。

※皆さんから出たご意見(ワークシートのふせん内容)の全てを裏面に記載しています。

### ●四万十市文化複合施設(仮称)管理運営基本計画とは？

昨年度策定した「基本計画」は、四万十市総合計画などの市全体に関する施策を踏まえ、「運営計画(ソフト計画)」と「施設計画(ハード計画)」の両面の基本的な方針を明らかにし、整備の指針や考え方を示すものです。今年度は、基本設計(ハード計画)が進められますが、並行して、事業や管理運営などのソフト計画の第一歩として管理運営基本計画により「施設でどんな活動を行うか」「施設をどのように活かすか」の方針を示し、実現のための条件整理を行います。この方針は、次年度予定している具体的な管理運営実施計画を策定するための基礎となります。

### ●市民ワークショップの管理運営基本計画策定への関わりは？

設計、管理運営計画の検討は文化施設や文化活動、まちづくりなどに関する代表者等で構成する「四万十市文化複合施設整備検討委員会」によって行われます。四万十市では、この委員会による検討に、できる限り市民意見を反映させたいと考えています。市民ニーズや地域の生の声を反映させるために実施するのがこの市民ワークショップです。市民ワークショップの大切な役割は、市民同士で意見を重ね、様々な立場からの声を集約して「整備検討委員会」に届けることです。

#### ☆☆ひとことアンケートの一部をご紹介します☆☆

- すごく意見を言いあって充実したワークショップだったと思います。皆さん考え方は同じに思いました。
- 具体的な使用方法を考えていくうちに利用イメージが沸いてきた。市民が利用しやすい運営方法にする事で今まで3つの施設以上に利用率が上がると良いと感じた。
- 複合文化センターのホームページで各サークルの活動PRを載せて欲しい。(公報だとバックナンバーを見ないと見出しせない。)各サークルの活動が継続していく運用をお願いします。
- 施設の使い方をグループごとに考えることができ、良い経験ができました。文化複合施設の計画がどのようになっていくのが楽しみです。
- 話合う時間が少なかった。もっと色々自由度の高いディスカッションが出来ればよかった。参加メンバーのバランスがもっととれているとよかったのではないかと主婦とか、小学生、老人、職業も色々な人がいれば意見も変わったのではないかと。
- 今後各団体(利用)の意見希望を話し合える機会があれば。
- 皆んなの希望は同じ、よりよい施設使いやすい施設になるようにと皆思いは一つだと感じました。関係者の皆様に感謝致します。

今年度6月～11月にかけて実施しました、全3回の市民ワークショップは今回をもちまして終了となります。ご参加いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました！

《作成・発行》  
四万十市企画広報課  
文化複合施設整備推進室  
& 空間創造研究所

令和元年11月

# 皆さんからいただいた全てのご意見(ワークシートのふせん内容)です。

	利用区分	受付時期	決定方法 調整・抽選・先着順など	その他 連続利用など			
<b>【休館日】</b> ・働く婦人の家では日曜日と祭日が休みなのですが、働いている方は、日曜日とか祭日に使いたい方がいると思います  <b>【開館時間】</b> ・使用時間は基本を決めて種目によって例外として常識の範囲で認めて欲しい ・早朝(8:00~)利用が出来る様にならないと焼窯使用出来ない ・深夜利用や早朝利用が出来る様に。毎日ではなくて良い ・ホール等は片付けなどもあるので23:00まで延長を認めてほしい ・定時を9時~PM10時までとし、利用目的によって時間外申請して利用調整出来る様に!!  <b>【利用申込受付方法・時間】</b> ・窓口受付は一ヶ所で統一してほしい!(全体のはあくができる)  <b>【その他の施設】(交流ロビー/スクエアパーク/創作デッキ(2F)/デッキ(3F))</b> ・学習施設の設置 →下校の汽車の発車まで集まれる。学習出来る時間に憩いのプラザ辺に喫茶がほしい →新しい機能の要望 ・各団体の備品が保管出来るスペースが欲しい ・スクエアパークは時々青空物産展、ダンス、祭り、演奏会など有料で開放できるように ・スクエアパークは利用料をいただいてフリーマーケット等行えるようにしてほしい →スクエアパークの有料化	ホール機能		市民優先利用 使用料の減額	楽屋専用のトイレを設置してほしい			
	大ホール		(全)市民の利用を優先する(一般、企業などと競合する場合) (全)市民が利用する場合は、使用料の減額を検討して欲しい				
	小ホール		受付開始時期 12ヶ月申し込みと予定が立てやすい(変更は1ヶ月前に) 決定方法 現在の生涯学習団体登録を同様の年間計画書で施設予約がいいのでは?	調整方法	小ホールにも小さな舞台がほしい		
	創造支援機能			ひとつの部屋も多用途に利用できるようにして利用者調整出来る様に	創作室や創作デッキが一体的に利用できるように		
	リハーサル室、スタジオ、練習室、会議室、和室、創作室、調理実習室			「利用区分の時間制導入」 利用区分は、1~2時間区切りがよい。空き時間が少なくできるので 基本(午前・午後・夜間)だが会議室等は時間制で	「創作室の設備について」 創作室利用 陶芸サークル カマ設置して下さい 電動クロロ設置 作品の置く場所(管理ができる)水回りはゆう渠を洗い流せる様に		
展示機能							
展示室							
<b>【休館日】</b> ・なし  <b>【開館時間】</b> ・AM9:00~22:00/1時間の延長を朝晩に認める  <b>【利用申込受付方法・時間】</b> ・仮予約は電話やインターネットでOK 本予約は顔を見て、了承してもらう ・職員さんの勤務時間に合わせて9:00~17:00  <b>【その他の施設】(交流ロビー/スクエアパーク/創作デッキ(2F)/デッキ(3F))</b> ・ロッカーがあると(有料)うれしい ・陶芸用 電気ガマを設置して下さい ・イベント用に開放 ・コピー機の設置	ホール機能		営利目的の企業は3ヶ月前~(全部の施設)	調整方法	調整方法	3日間	
	大ホール	午前 午後-3区分 夜間	13ヶ月前~1ヶ月前	調整方法 調整の中で先着順			
	小ホール		13ヶ月前~1日前	練習利用の場合は前日までOK			1週間(+前日)
	創造支援機能						
	リハーサル室、スタジオ、練習室、会議室、和室、創作室、調理実習室	1時間ごと	3ヶ月前~当日				3日間
展示機能							
展示室	午前 午後 夜間	13ヶ月前~1日前				1週間(+前日)	
<b>【休館日】</b> ・なし ・定期休館日なし ・年末年始も開館(新春かるた大会など)  <b>【開館時間】</b> ・原則 9:00~22:00 ・原則 9:00~22:00 準備のための時間 7:00~24:00 ・準備のための7:00~24:00も利用できるように(事前に申請)  <b>【利用申込受付方法・時間】</b> ・窓口 ☆優先順位を考える必要がある! 窓口優先! ・インターネット FAX 郵送 ・8:30~17:00(休館日を除く)  <b>【その他の施設】(交流ロビー/スクエアパーク/創作デッキ(2F)/デッキ(3F))</b> ・交流ロビー展示室と一体的な利用 ・スクエアパーク ・食イベント ・ホールのおまつり	ホール機能		24ヶ月前	調整方法	調整→先着順	冷暖房費 考え方を整理 利用する時は常に快適に	
	大ホール	午前 午後 夜間 3区分		大ホールの利用者は他の室も同時に予約できる			
	小ホール		13ヶ月前	生涯学習課の加盟団体の利用調整(現在) 今後はどうなる? 定期利用!?調整			小ホール 展示室 交流ロビー 一緒に市展など
	創造支援機能	1時間単位	3ヶ月前				大ホールを予約した団体はリハーサル室も優先的に予約できる
	リハーサル室、スタジオ、練習室、会議室、和室、創作室、調理実習室						
展示機能							
展示室	1日単位 ☆短期優先	13ヶ月前 展示室を会議室として利用する場合は1のルールで		調整方法	調整→先着順		
<b>【休館日】</b> ・メンテナンスが必要な時に告知をして臨時に休館する ・定期休館日なし ・休館日は必要 毎週ではなく月2日とかいう程度(特例はあり) ・年末年始イベント利用を可能にする  <b>【開館時間】</b> ・9時~22時を基本 ・早朝深夜の延長利用を認める  <b>【利用申込受付方法・時間】</b> ・利用可能日をインターネットで確認できるようにする ・登録団体については、電話、FAXでの申し込みをできるようにする ・初見の場合は窓口へ ・申込受付はインターネット利用になってくると思う。早い順になるとか調整は別に必要 ・職員の勤務時間を考えて決める(申し込み時間) ・受付時間は窓口は基本9:00~5:00  <b>【その他の施設】(交流ロビー/スクエアパーク/創作デッキ(2F)/デッキ(3F))</b> ・市民利用ができるようにしたい!	ホール機能			調整方法	調整方法	調整→先着順がよい	
	大ホール	午前・午後・夜間、 午前+午後、 午後・夜間、 全日	13ヶ月前				
	小ホール		12ヶ月前 (こども劇場)				
	創造支援機能						
	リハーサル室、スタジオ、練習室、会議室、和室、創作室、調理実習室	1時間単位					定期利用ができるようにする
展示機能							
展示室	展示が優先	12ヶ月前 例えば2ヶ月を切れば会議室利用として1時間単位での利用可				お花3日間 陶芸5日間	

※ご意見は基本的にワークシートのとおりに掲載していますが、適宜誤字・脱字の修正を行っています。

2時間を超える今回の市民ワークショップでは皆さんから、こんなに多くのご意見が出されました。次年度(令和2年度)は「管理運営実施計画」として、より詳細な管理・運営のあり方について検討を行います。今後どうぞよろしくお願いいたします!